



ぶらり神戸第18号

令和3年2月

「淡河八幡神社御弓神事」  
おゆみ

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令中ではありますが、2月11日  
青天のもと由緒ある無形民俗文化財行事が厳かに行われました。

「淡河八幡神社御弓神事」は、昭和  
46年に兵庫県無形民俗文化財に指定され  
ています。



この神事は、鎌倉時代初期の発祥と伝え  
られ、豊作予祝いの年頭行事で、弓を射る

所作を行い、邪気を払う伝統行事です。射手は、氏子となっている近隣地域  
から20歳までの男子4名が選ばれます。射手は、巨大な的（直径2m）の中



心に宮司が墨書した「鬼」の文字に向かっ  
て射芸を交えつつ一人4本計16本の矢  
を放ちます。兵庫県下では、他に三木市の  
御坂神社お弓神事、神戸市西区の櫛谷神社  
弓引き祭りがあります。

古式をとどめた厳格な作法を今に伝え  
る無形民俗文化財を淡河の地で約800年間にわたって守っていることはす  
ばらしいことです。